

大阪府堺市は四月一日に全国十五番目の政令指定都市に移行し、関西の産業都市として新しい飛躍の時代を迎える。中世に栄えた「黄金の日々」をよみがえらせようと、臨海部から内陸部まで幅広く産業が発展する兆しが見え始めた。とりわけ独自の技術や市場占有率が高い商品を持つ製造業は堺から世界に向けて事業を展開しつつある。

# 黄金の日々

# 復活期す堺

堺市は国内最大の自転車産地だ。伝統技術の中から多くの製造業者が生まれ、大手企業に成長した自転車部品製造のシマンは世界中に製品を輸出している。

シマンは三月、自治体の国際連合組織「イクレイ(CLEI)」(本部カナダ・トロント)の「自転車を楽しむ都市賞」への資金援助を始めた。同賞は自転車を活用したまちづくりで成果を上げた自治体を表彰するために創設された。

ダムなどに次ぎ二例目。自転車産業と文化への貢献に注目し、世界自転車競技連合(UCI)のパット・マックエイド会長も同社を

いすの背もたれの調節金具を年間に約八百四十万個生産しており、市場占有率は国内八〇%、海外六五%に達する。二〇〇五年七月期

## 自転車・刃物……

▲訪れた。

海外の自転車振興事業への資金援助は自転車の利用計画を研究する民間団体「ベロ・モンディアル」(本部オランダ・アムステルダム)を訪れた。自転車部品の技術を転用して世界で活躍する企業も登場している。インテリア・家具用の部品製造、向陽技研(山下雅伸社長)は座

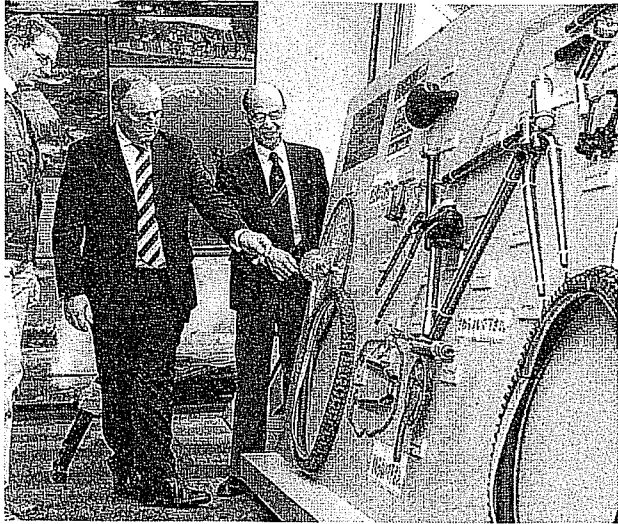
員三十五人ながら知的財産権(パテント)はすでに百件近い。

山下社長は「座いす金具は欧米向け家具メーカーのソファに、テーブルや机の高さを調節する金具は国内大手の事務用品メーカーなど様々に利用されている」と話し、国内外の取引先開拓に積極的だ。

堺市には伝統産業から出発した刃物製造を続ける企業もある。一八七六年創業のアルスコーパーレシオン(滝川重隆社長)は〇五年十二月期の売上高約三十億円のうち海外の比率が三分の一を超えた。

同社の主力商品である園芸用の剪定鋏の製造を始めた滝川重次名誉会長は「戦後、裁縫鋏(こて)の製造で業績が立ち直ったとき、再び包丁を造ろうかとも考えた。しかし人のまねをするのは嫌だと思い、剪定鋏を手がけた」と振り返る。

「堺でできない物を造ろう」という挑戦の精神が成功に結びついた。



自転車博物館サイクルセンターを訪れた世界自転車競技連合の会長(左)ら(大阪府堺市)

## 伝統応用し 世界に発信

の売上高は九億円。

この金具は背もたれの角度を切り替える際にカチャカチャと音をたて、ギアの歯とツメがかみ合う仕組み。昨秋に従来より重量が三〇%以上軽く、強度は一〇%以上上げた十四段ギアを発売し、台湾、米國、日本で特許を取得した。従業